

医療安全対策委員会 施設見学

～横浜市交通局 安全教育センター 動力車操縦者養成所～

令和 6(2024)年 10 月 30 日 神奈川県看護協会 医療安全対策委員会メンバーが、横浜市交通局 安全教育センター 動力車操縦者養成所を見学しました。

横浜市交通局は、経営理念の中に「安全意識を高く持ち、安全確保を最優先します。」と掲げ、市営地下鉄(ブルーライン・グリーンライ)と市営バスを運営しています。市民の足となっている横浜市交通局の、安全運行への取組を見学してきたので紹介します。



はまりん:横浜市交通局
イメージキャラクター

【動力車操縦者養成所】

地下鉄の運転資格(甲種電気車運転免許)を得るためには、入所選考試験後、学科講習を約 3 か月、技能講習を約 6 か月履修します。免許の交付は約 1 か月かかるため、実際の運転業務にあたるには約 10 か月の期間が必要となります。運転業務開始後も 3 か月、1年、5年と安全教育センターでのフォローアップ研修が実施されます。

今回、運転士見習いによる、仮設付き出区点検の様子を見学させていただきました。この点検は本線を正常に運転するため、基地出区前に各機器の動作チェックを行う点検です。仮設付き点検は、点検箇所 5 か所の不良箇所を設定し、その不良箇所の発見と対処を行う訓練です。私たち見学者がいる中ではありましたが、約 150 に及ぶ点検項目を流れるように実施し、指導員も厳しくチェックをされていました。医療現場ではチェックリストを使い確認することが多いと考えますが、通常の点検ではチェックリストは使わず、全ての内容を暗記し実施しているそうです。この点検ができなければトラブル対処は難しいので、チェックリストに頼ることなく点検項目は、皆さんの頭に入っているとのことでした。



【安全意識向上の取組】

令和元年に発生したブルーライン下飯田脱線事故を受けて、職員教育の抜本的な見直しが行われたことが説明されました。しかし、育成上の課題として、「失敗は自分事ではないために伝わらない。」「事故後はとても注意するが、時間とともに忘れ去られる。」「自分は大丈夫。」など

があることが説明され、まさに、医療の現場と同じ悩みがあることが共感できました。

バスについては、平成 26 年に発生した重大事故を受けて、車内モニター・アンダーミラーの造設、接近センサーの設置など、機器の整備に取り組むだけでなく、一時停止の意義について安全確認の徹底について教育されていました。同時に、お客様に対してだけでなく“自分のために”も安全確認の実施が必要であるとも教育していました。医療も患者を守るためだけでなく、自分自身を守るためにも安全確認を行うよう伝えており、このことも共通している点だと感じました。

【指差喚呼(ししかんこ)＝指差称呼(しししょうこ)】

医療現場では指さし呼称としてなじみが深い安全行動ですが、交通機関では指差喚呼・指差称呼と呼ばれています。安全教育センターで「鉄道の指差喚呼は、明治末年に目が悪くなった機関士が、機関助士に何度も信号の確認をしていたことを、同乗した同局の機関車課の幹部が機関士の目が悪いことを知らずに素晴らしいこととルール化したと評価したことに起源がある。」と伺いました。一人の作業員が行った指差喚呼に続いて、協働する作業員がそれを復唱することを喚呼応答と言います。1 目で見て、2 腕を伸ばして指で指して、3 口を開き声に出して「〇〇〇、ヨシ！」4 耳で自分の声を聞く、これら一連の動作で安全確認を行うように訓練されているのですが、これらの行動が浸透した要因として、職員が率先して良い取り組みと感じる指差呼称を行ったことも浸透につながったのではとのことのお話でした。行動変容は、行う職員が必要ことや有用性を認識することが重要であることを改めて感じました。

【まとめ】

今回の見学目的の一つに、交通機関での指差喚呼・指差呼称の取り組みがありました。医療機関で指差し確認が十分定着しない中、交通機関ではどの現場でも業務の一部として指差喚呼・指差呼称がしっかり浸透しています。しかし今回学んだのは、そこに特別な方策があるのではなく、教育を含めた様々な機会を通じながら「繰り返し指導する」「繰り返し伝え続ける」働きかけが、指差喚呼の実施につながっていることでした。

医療従事者である私たちは、指差し呼称が安全管理に必要であるからこそ、時間をかけ繰り返し働きかけることが重要なのだと改めて認識できました。

最後に、安全に医療を提供するために対策を考える医療機関も、お客様を安全に目的地にお届けするために安全対策をとる交通機関も、安全に対する課題は同じであると共感できました。

このような貴重な経験をさせていただいた、横浜市交通局 安全教育センターの皆様から感謝を申し上げます。



横浜市交通局安全センターの皆様と委員の集合写真